

進歩する救急医療現場を チームワークと機動力で対応

「安全かつ良質な周術期管理に取り組みます」

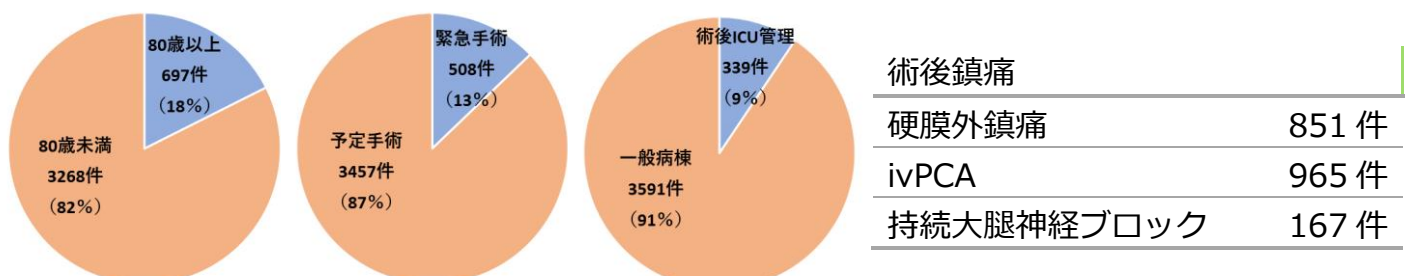
- ◇ 当院の特徴は各診療科や職種間の垣根が低く、協力体制が確立していることです。手術には医師、手術室看護師、臨床工学士、放射線技師など他職種が関わります。
- ◇ チームワークと機動力が自慢です。緊急手術も診断から速やかに手術が行われるように調整し、より重症な患者は集中治療部と協力して術後 ICU で管理しています。
- ◇ 術後鎮痛として硬膜外麻酔、患者自己調節鎮痛(PCA:Patient-controlled analgesia)、持続大腿神経ブロックなどの術後疼痛管理を積極的に行い、患者の術後早期回復に貢献しています。

「最新のトピックス」

- ◇ ここ数年で新しい薬剤が相次いで発売されました。麻薬、吸入麻酔薬、筋弛緩薬は作用時間が短く、循環抑制が少なく、調節性の良いものが主流となりました。麻酔からの覚醒が格段に早くなり、手術室の滞在時間が短縮されました。
- ◇ モニターと麻酔器も大きく進歩しました。脳波や筋弛緩のモニターは外科医が手術しやすい環境を提供しつつ、速やかな覚醒を可能にしています。
- ◇ 麻酔記録は全て電子化され、心電図、血圧、酸素飽和度をはじめとするバイタルサインの数値と波形データはコンピュータに自動的に取り込まれ、記録保存されており、安全管理も徹底しています。
- ◇ 新病院ではハイブリッド手術室を整備する予定です。手術室と心・脳血管カテーテル室それぞれ別の場所に設置されていた機器を組み合わせることで最新の医療技術に対応します。

「診療実績」

2020年 麻酔科管理症例 3965件



「新病院に向けた新たな患者像」

高齢者人口の増加に伴い、いろいろな合併症を持った患者さんが増えています。術前から、主治医、麻酔科医、看護師、薬剤師などの医療スタッフが周術期管理チームを立ち上げ、安全、安心な手術、術後鎮痛、早期回復、早期退院、社会復帰を目指しています。



2021年度 麻酔科集合写真

広島市立安佐市民病院 麻酔科 医師スタッフ紹介

たなか ひろゆき 田中 裕之 (S62卒)	副院長 麻酔科部長 集中治療部部長 〔心臓麻酔・小児麻酔・小児集中治療・P・インテック・緩和ケア〕		
せら あきひろ 世良 昭彦 (S60卒)	集中治療部主任部長 麻酔科部長 〔集中治療医学・救急医学〕		
くぼ たかし 久保 隆嗣 (H5卒)	麻酔科主任部長 集中治療部部長 〔周術期麻酔管理〕		
やすうじ まさかず 安氏 正和 (H9卒)	中央手術センター主任部長 麻酔科部長 集中治療部部長 〔周術期麻酔管理・集中治療医学・救急医学〕		
たはら なおき 田原 直樹 (H4卒)	集中治療部部長 麻酔科部長	ふるや みか 古屋 美香 (H15卒)	麻酔科部長 集中治療部部長
えらび よしかず 撰 圭司 (H16卒)	麻酔科部長 集中治療部部長	あさやま きょうこ 朝山 京子 (H18卒)	麻酔科副部長 集中治療部副部長
ささだ しょうご 笹田 将吾 (H24卒)	麻酔科医師 集中治療部医師	ふくはら くみ 福原 久美 (H26卒)	麻酔科医師 集中治療部医師
いしい ともみ 石井 友美 (H27卒)	麻酔科専攻医 集中治療部専攻医	ふくい はるか 福井 晴香 (H28卒)	麻酔科専攻医 集中治療部専攻医
なりた しょうこ 成田 祥子 (H28卒)	麻酔科専攻医 集中治療部専攻医	いのうえ ふみや 井上 史也 (H29卒)	集中治療部専攻医 麻酔科専攻医
つかもと まるみ 塚本 万瑠美 (H30卒)	麻酔科専攻医 集中治療部専攻医	ひらばやし はやと 平林 勇人 (H30卒)	麻酔科専攻医 集中治療部専攻医